

編集 後記

編集顧問 町田 豊平

編集委員 郡 健二郎

小川 秋實

秋元 成太

村井 勝

藤岡 知昭

大家 基嗣

小生、平成 25 年 (2013 年) 12 月 5~6 日の期間、盛岡市におきまして「第 26 回日本バイオセラピー学会学術集会総会」を主催させていただきました。

この会は、1987 年に大阪大学の田口鐵男先生を会長に日本 BRM (biological response modifiers) 学会として発足したもので、がん免疫療法の変遷とともに歩んできました。すなわち、当初は、BCG などの細菌およびクレスチン、レンチナン、ベスタチン、ピシバニール (OK-432) などの非特異免疫賦活物質や療法剤に始まり、インターフェロンやインターロイキン 2 (IL-2) などのサイトカイン製剤登場とともに内因性抗腫瘍因子の誘導療法、さらには *ex vivo* で IF-2 の添加培養により増殖させた LAK 細胞や腫瘍調リンパ球を移入する養子免疫療法を経て、分子生物学の発展によるがん抗原の同定を機会に、DC 細胞やペプチドによるがんワクチン開発が注目され、特異的免疫誘導の可能性が議論の中心になっています。

さらに、近年、がん免疫修飾機構が解明されて、PD-1, PDL-1 および CTLA-4 に対する抗体の臨床治験の時代が始まっています。今やがん免疫療法は、主要な役者が出揃った感があり、当学会は大きな転換の時期であると思われます。

今学術集会では、がんペプチドワクチン療法とがん免疫抑制・免疫疲弊の克服を 2 大テーマにしました。特別講演は、シカゴ大学の中村祐輔教授による「ゲノム情報に基づくがん抗体・ペプチドワクチン療法の開発と次世代 DNA シークエンサーを利用した定量的免疫モニタリング」で、刺激的で魅力的な内容でした。ペ

プチドワクチンに関して「医師主導治験と企業治験」と「将来展望」のシンポジウムと、「がん免疫学会」との共同シンポジウム「がん免疫抑制・免疫疲弊の克服」を企画しまして、テーマに関する議論を集中させました。

敬愛します岩手の詩人、宮沢賢治の心象世界「イーハートブ」の地で、「そこではすべてのことが可能である」という賢治の思いを噛みしめながらの、至福の 2 日間でした。今後、がん免疫療法の新たな展開が大いに期待され、「患者さんの希望・バイオセラピー」の日が近いと確信しています。

さて、今月号の総説は、秋田大、佐藤 滋・三浦昌朋両先生による「タクロリムスの薬物動態・薬理遺伝学と個別投与量設計」です。よく整理された内容で、読者の皆様の実臨床の参考になるものと思います。願わくば、早期に簡便な「ゲノム情報に基づく個別投与量推定器」の開発をお願いしたいものです。

「手術手技：泌尿器腹腔鏡手術—もう一步、ステップアップするために」は、腎盂形成術です。3 施設の名人たちが、おのおののこだわりのコツを述べられています。当然ながら共通点が多いのですが、奥が深く熟読すべき内容だと思います。

神戸大、川上 史・伊藤智雄両先生による「知っていると役に立つ泌尿器病理」は、クラミジア精巣上体炎です。遭遇する機会があると思いますが、中年以下の精巣上体炎を診察する際は病歴の採取が大切であることを再認識しました。

症例は 6 編、中々の力作で、興味ある内容です。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第 68 巻 第 1 号) (通巻 808 号)

2014 年 1 月 1 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価：本体 2,800 円＋税

2014 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担)			
冊子版	42,730 円	冊子+電子版/個人	47,730 円
電子版/個人	42,730 円	冊子+電子版/共有	54,100 円
電子版/共有	49,100 円		
※上記は 2014 年 3 月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です (2014 年 3 月ご購入開始分まで適用)。			

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当：登・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** < (株)出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。